

視 察 報 告 書

令和5年10月15日

呉市議会議長 殿

呉市議会議員

山下 良二

呉市議会議員

光宗 尊

呉市議会議員

中原 明夫

次のとおり視察を実施したので報告します。

1. 視察期日

令和5年10月3日(火)、4日(水)、5日(木)

2. 調査項目

北海道 美瑛町 「ビジネス版LINEのグループウェアの導入について」

北海道 富良野市 「書かない窓口について」

施設視察

北海道 旭川市博物館

北海道 北海道立旭川美術館

3. 参加議員

山本議員、光宗議員、中原議員

北海道 美瑛町

■調査項目

ビジネス版LINEのグループウェアの導入について

・調査対応者

美瑛町総務課 JK係 水本係長

・調査期日

令和5年10月3日(火) 14:30~15:30

・美瑛町の概要

人口: 9,469人

面積: 676.78km²

・調査目的

グループウェア運用をインターネット系統での運用に変更した内容について、調査を行った。

・調査内容

【美瑛町からの説明】

美瑛町は、これまでグループウェア運用をLGWANN系統(地方公共団体ネットワーク)で運用していたが、これをインターネット系統での運用に変更を行った。

初年度導入費は約180万円、次年度以降はライセンス更新料として約200万円~270万円の事業費で運営している。

以前は無償のグループウェアを使用していたが、扱うデータ量が増えたことで、非常に重く遅くなっていた。平成29年に三層の見直しによるネットワーク分離に合わせ、新たなグループウェアを選定することになった。

災害時など庁舎以外での利用を想定してインターネットのクラウドシステムを選択した。その中で、より簡単に扱うことができ、全職員に浸透することを目的に検討した結果、平成29年からLINEWORKSを採用した。

【現 状】

現在、270ライセンスを契約している。主にメール、チャット、カレンダーを使用しており、職員間の情報連携や外部との連絡、公用車・会議室予約にも使用している。

モバイル版(スマホ)の利用については、LINEWORKSのアンケート機能を使

用して申請した職員に対して許可をする形で使用している。6年が経過し、チャット機能やスケジュール機能が浸透することで職員間の情報連携が以前よりも短時間で正確に共有することが可能となってきた。

【具体的な効果】

グループウェアの課題であったサーバーの負荷はクラウド型にすることにより、重い遅いという課題はほぼ解消された。

チャット機能を駆使することにより情報共有や閲覧していない職員（未読）などを判別することが可能となり、目的ごとのグループで情報共有することが非常に増えてきている。

災害時の情報共有が非常にスムーズになったことで、現場の状況を画像で確認することが多地点で可能となったことで的確な指示を出すことが出来るようになった。

【今後の課題】

チャット機能が優れているため、災害時、グループごとの照会事項、事務連絡、リマインド、経過共有など場面ごとに非常に活用が出来ている。苦慮しているのは職員全体に浸透はしてきているが、すべての職員が同等程度使いこなしていない部分があり、今後は利用者の底上げが必要な部分がある。

【質疑応答】

省略

【呉市での展開の可能性】

美瑛町では、他都市同様にL GWAN系統（地方公共団体ネットワーク）でグループウェアを運用していたが、これをインターネット系統（L I NETWORKS）での運用に変更することにより業務改善を行った。経過は良好で今後の課題は全職員のソフトウェア活用のボトムアップ程度と状況である。経費的にはライセンス数×1万円程度（1年間）であり、費用対効果も許容範囲と考えられる。

現在、呉市においてもL GWAN系統を使用していると考えられ、美瑛町同様の不具合が発生している可能性がある。今回の調査内容を参考にインターネット系統での運用を検討する価値があると考えられる。

議会ではGoogleの無償ソフトウェア（メール、カレンダー等）とsidebook等の有償ソフトウェアを活用しているが、今後データ量の増大、双方向の受信確認等の必要性が大きくなった場合、今回の調査結果を参考にL I NETWORKS等のインターネット系統での運用を検討すべきと考えられる。

北海道 富良野市

■調査項目

書かない窓口について

・調査対応者

富良野市市民部市民課 須藤課長

・調査期日

令和5年10月4日10:00～11:30

・富良野市の概要

人口：21,131人

面積：600.71km²

・調査内容

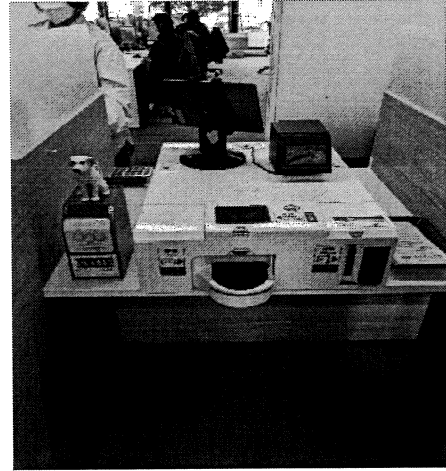
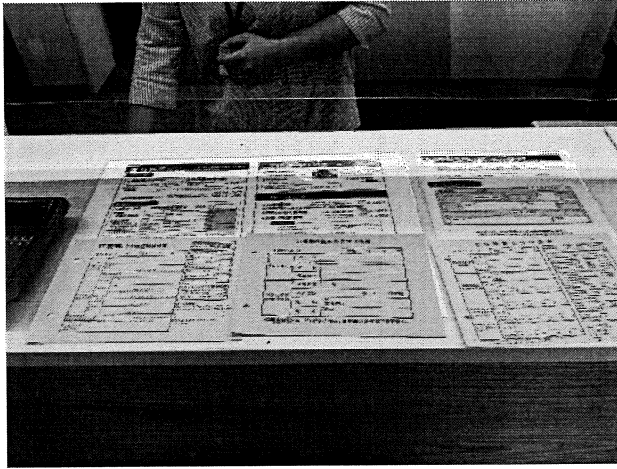
説明内容は別添資料を参照。

・質疑応答

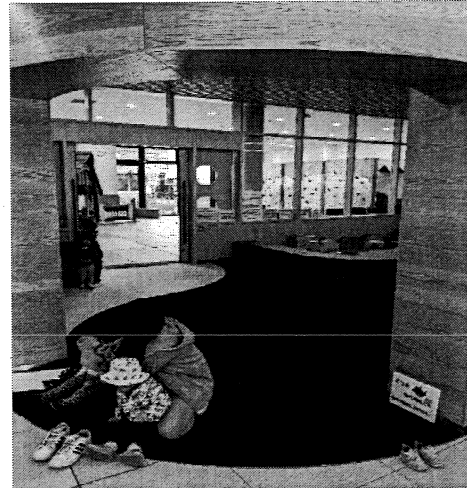
省略



【庁舎入口、書かない窓口】



【従来の記入用紙→廃止、支払いはセルフ方式】



【受付付近のキッズルーム】

【呉市での展開の可能性】

新庁舎建設に合わせ、「書かない窓口」を北見市と「窓口支援システム」を共同開発。

「書かない窓口」、「何度も聞かない窓口」、「手続き漏れの無い窓口」を目指した。

期待効果としては、市民と職員、お互いの手間・時間・負担軽減が挙げられる。

呉市も新庁舎建設に合わせ、ワンストップサービスによる窓口業務の改善を推進してきたが、現状は担当部署への案内を実施している感がある。今回の「書かない窓口」調査結果は、今後の呉市窓口業務改善に寄与する可能性を秘めていると感じている。

施設視察

■旭川市博物館

概要

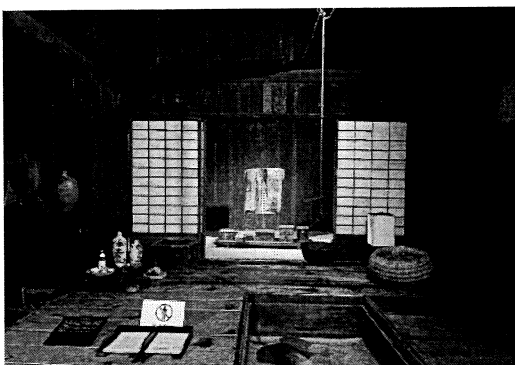
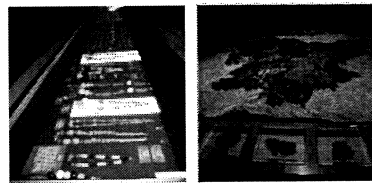
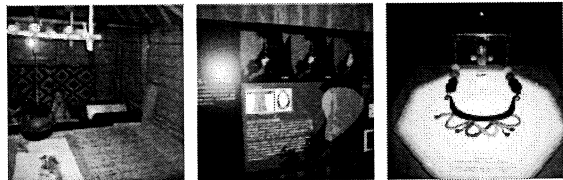
旭川市博物館は、北海道旭川市にある総合博物館です。常設展示室は、1階・地下階の2層構造になっており、アイヌや屯田兵の住居を復元しているほか、旭川と周辺地域の歴史・文化・自然についての資料を展示している。アイヌの歴史と文化に出会うことをテーマとしており、北北海道の歴史や文化、自然にかかわる様々な資料が展示されている。

昭和43年から平成4年までは「旭川市郷土博物館」の名で旧偕行社（現中原悌二郎記念彫刻美術館）にて運営されていましたが、平成5年より旭川大雪クリスタルホール内に移転し、現在に至っている。

常設展示室は上層・下層の2層構造になっており、上層階には北海道を代表する先住民であるアイヌの人々やそれ以前の古代の人々、または明治以降屯田兵として入植してきた和人たちなど各時代の住居を復元移築しています（竪穴式住居・チセ・屯田兵屋）。併せて当時の生活用品などの貴重な資料を数多く展示して、私たちに当時の人々の暮らしぶりを忠実に伝えてくれています。

また、下層階では「北国の自然と人間のかかわり」をメインテーマに自然と人文系の資料を展示しており。ここでは旭川とその周辺の地質、地形、気候、生態系及びその形成過程を詳細に知ることができる。

さらに、特別展示室、郷土学習室などにおいて特別展や様々な体験学習を開催しており、楽しみながら旭川の自然や歴史を学ぶ機会を設けている。



■北海道立旭川美術館

北海道立旭川美術館(ほっかいどうりつあさひかわびじゅつかん)は、北海道旭川市にある美術館である。1982年に開館し、北海道を代表する建築家田上義也により設計された。

道北にゆかりのある作家の作品や、木材の町である旭川にちなみ、伝統木工芸や木の現代造形、木工クラフトなどが収集・展示されている。また、国内外の優れた作品を展示する特別展も行っている。



主なコレクション

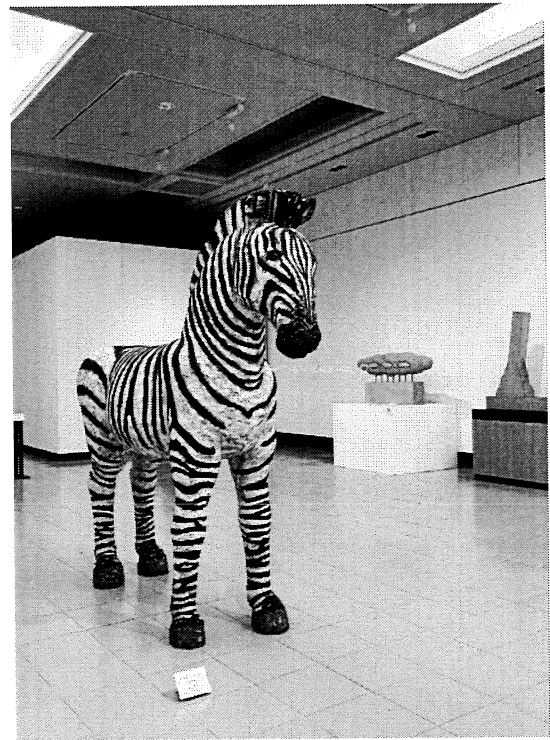
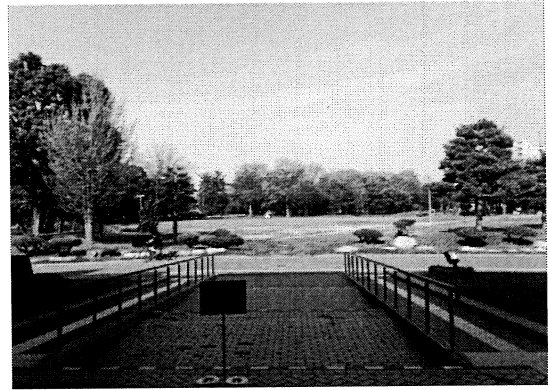
絵画 - 難波田龍起(旭川市出身)、佐藤進(士別市出身)、阿部貞夫

木彫 - 神山明、舟越桂、砂澤ビッキ

クラフト・デザイン - 丹野則雄

木工芸 - 黒田辰秋(人間国宝)





【博物館並びに美術館見学における呉市での展開の可能性】

旭川市博物館は市街地の複合施設の一部として運営されており、市有設備の老朽更新を一カ所に集めて効率的に配置した感想を持った。呉市でも美術館、博物館のリニューアルを検討しており、今回の調査結果を反映したいと考えます。

北海道立美術館は広大な常盤公園の一角に建つ渋いたたずまいの美術館であり、北海道の立地で建設可能な美術館という感想を持った。この地に根付いた美術の奥深さ、広がりを感じることができ、絵画だけでなく彫刻も盛んで、独特の感性を持つ作家さんの作品を鑑賞できる。この美術館では過去の作品だけでなく、アニメなども含めた最近の作家の企画展も開催されている。呉市も美術館のリニューアルを検討中である。前述した複合施設による効率的なリニューアルの在り方も含め、今回の調査結果を反映させていきたい。